

島根県大原郡木次町上熊谷方言の否定の表現

水谷 信明

I. はじめに

1. 調査対象地： 大原郡木次町上熊谷中ノ段は、島根県出雲地方の南部地域、通称雲南地区に位置する。県庁所在地の松江市から、国道9号線を宍道湖沿いに西へ約17km行ったところに宍道町がある。その宍道町と広島市とを結ぶ国道54号線を、宍道から約15km南下すると、国道54号線と国道314号線とが交差する。国道314号線の方を斐伊川沿いに3kmぐらいさかのぼったところが、当地である。買物は、木次・三刀屋町の他、車で松江市まで約50分、出雲市まで約30分かけて出かける。上熊谷は昭和27年まで飯石郡飯石村、昭和29年からは飯石郡三刀屋町であったが、上熊谷の中の中ノ段と正理地区とが、昭和32年に町村合併により大原郡木次町に入った。調査地の上熊谷中ノ段は、以前は生業として農業・紙すき等自営業が多かったが、現在は、農業を兼ねたサラリーマン家庭が大部分である。戸数65戸、人口260人くらい。
2. 調査年月日： 1994年12月10日・11日、12月23日・24日
3. 話者： 水谷敏子 昭和3年10月27日生（66歳）、水谷正吉 大正15年1月3日生（69歳）
4. 調査者・調査場所：水谷信明、話者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他：アクセントは、棒引きで記す。

II. 調査結果

1. 行かない アメガ フーヤナケン キョーワ {①ドコエモ イカナイ。②ドコモ イカナイ。③ドコエモ イカン。④ドコモ イカン。⑤ドコエモ イカヘン。⑥ドコモ イカヘン。}
*否定部分は、「イカナイ」「イカン」「イカヘン」の三つの言い方が出てきている。「どこへも」の方は、「ドコエモ」「ドコモ」の二つの表現が見られる。
2. 降らないよ キョーワ アメワ {①フラン。②フラン ヨ。③フラヘン。}
3. 行きません キョーワ {①ドコエモ②ドコモ} イキマセン。
4. 行きはしない キョーワ {①ドコエモ イカヘン。②ドコエモ イカセン。③ドコモ イカヘン。④ドコモ イカセン。⑤ドコエモ イキヤーセン。}
*調査項目1で見られた「～ナイ」という表現は、ここでは出てきていない。その代わり、「行きはせぬ」系の表現である「イカヘン」「イカセン」「イキヤーセン」が出てきている。
5. いらっしゃらない(行かれない) センセワ キョー {①ドコエモ イカレナイ。②ドコモ イカレナイ。③ドコエモ イカレン。④ドコモ イカレン。⑤ドコエ

モ イカッサラン。⑥ドコエモ イキナハラシ。

*この地域のもともとの否定表現は「～ン」であったことが、この調査項目からも見てとれる。それは⑤⑥のように、当地でよく使われる尊敬の助動詞「シャル」「ナハル」につくのが、助動詞「ン」であるところからも言える。助動詞「シャル」と「ナハル」とでは、「シャル」の方が古めかしい言葉として意識されている。

6. 行かなかった キョーワ {①ドコエモ イカシタッタ。②ドコエモ イカダッタ。
③ドコモ イカシタッタ。④ドコモ イカダッタ。}

*「イカダッタ」「イカシタッタ」の二つが見られる。

7. 行きはしなかった キョーワ {①ドコエモ イキヤセダッタ。②ドコエモ イカセダッタ。
③ドコエモ イカセンダッタ。④ドコモ イキヤセダッタ。⑤ドコモ イカセダッタ。
⑥ドコモ イカセンダッタ。}

*否定表現として、「イキヤセダッタ」「イカセダッタ」「イカセンダッタ」の三つが出てきている。

8. 行くまい アメガ フーヤナケン キョーワ {①ドコエモ イクマイ。②ドコエモ
イキマイ。③ドコモ イクマイ。④ドコモ イキマイ。⑤ドコエモ イカン
ゾ。⑥ドコモ イカン ゾ。⑦ドコエモ イカン。⑧ドコモ イカン。}

*否定表現に関しては、「イクマイ」と「イキマイ」、「イカン」と、それに文末詞がついた「イカン ゾ」との四つの表現が見られる。

9. 出まい アメガ フーヤナケン キョーワ {①ドコエモ デン。②ドコエモ デン
ゾ。③ドコモ デン。④ドコモ デン ゾ。}

10. すまい キョーワ ナンダイ {①セン。②シマイ。③セン ゾ。}

11. 降らないだろう キョーワ オーカタ アメワ {①フランダラ。②フランダラ
ゾ。③フーシエンダラ。}

*「降らないだろう」系と「降りはせんだろう」系のものが出てきている。

12. 降るにちがない アシタワ {①ドダデモ アメガ フー ゾ。②ドダデモ ア
メガ フー ジ。③セッタイ アメガ フー ゾ。④セッタイ アメガ フー
ジ。}

*「降るにちがない」の部分は、文末詞を伴って「フー ゾ」「フー ジ」の形が出てきている。文末詞の「ゾ」と「ジ」とでは、「ジ」の方が古めかしいと意識されている。

13. 来ない キョーワ {①ダレンダイ コン。②ダレンモ コラン。③ダレモ
コン。}

*否定表現については、「コン」と「コラン」の二つがある。「誰も」の部分には「ダレンダイ」「ダレンモ」「ダレモ」という表現が出てきている。

14. 来はしない キョーワ ダレンダイ {①ケーセン。②ケーヘン。③コラン。}
*「ケーセン」「ケーヘン」「コラン」の三つがある。
15. 来なかった キョーワ {①ダレモ コンダッタ。②ダレンダイ コンダッタ。③ダレモ コラレンダッタ。④ダレンダイ コラレンダッタ。}
*①②の「コンダッタ」に尊敬の助動詞を入れたものが③④の「コラレンダッタ」であると見ることができる。
16. 見ない (見かけない) キョーワ {①ダレンダイ ミン。②ダレモ ミン。③ダレンダイ ミーセン。④ダレモ ミーセン。}
*「ミン」と「ミーセン」の二つが見てとれる。
17. 居ない キョーワ {①ダレンダイ オラン。②ダレモ オラン。③ダレンダイ オラセン。}
*「オラン」と「オラセン」の二つが出てきている。
18. 行かずに {①ドコエモ イカズニ②ドコエモ イカンド③ドコモ イカンド④ドコエモ イカンコニ} ウチニ オル。
*「イカズニ」「イカンド」「イカンコニ」が出てきている。
19. 行かなくても {①ワザワザ イカデモ②ワザニ イカデモ③ワザワザ イカンド④ワザニ イカンド} エー。
*「イカデモ」「イカンド」の二つがある。
20. 行かなければ {①ワザワザ イカナ②ワザニ イカナ③ワザワザ イカニヤ④ワザニ イカニヤ} エカッタ。
*「イカナ」「イカニヤ」の二つが出てきている。
21. 行かねば ドゲデモ {①イカニヤ②イカナ} イケン。
*「イカニヤ」「イカナ」の二つの表現が見てとれる。
22. 行かねばならない ドゲデモ イカンナラン。
23. ~ズ (ヤ・ジャ・ダ) 言わない。
*その代わりに、「キョーワ ドコエモ イカンコニ シマッタ。」「キョーワ ダレンダイ アワンコニ シマッタ。」といった「~ンコニ シマッタ」という表現を用いている。
24. 行きもせず、来もしない ①コッチカラ イキモセズ ムコーカラ {①キモセズ ②キモセン。} / ②コッチカラ イキモセンシ ムコーカラ キモセン。
25. 行くか行かないかわからない ソノ シノ イエニ アシタモ {①イクダイ イカンド ワカラン。②イクカ イカンカ ワカラン。}
26. 無い ①コーホドヨカ ナイ。 / ②コーホドヨカ ネ。 / ③コーホドシカ ナイ。 / ④コーホドシカ ネ。
*「無い」については、「ナイ」と「ネ」とが存在する。

27. 無い コトシミタイニ {①アチ トシワ ナイ ネー。②アチ トシワ ネ ネー。
③ヌクイ トシワ ナイ ネー。④ヌク トシワ ネ ネー。}
- * 「無い」の部分は、調査項目26と同様、「ナイ」と「ネ」とが出ている。②④は文末詞の「ネー」と重なり、「ネ ネー」となっており、表現として興味深い。
28. ありはしない コトシミタイニ {①アチ トシワ アラセン。②アチ トシワ アリヤセン。
③アチ トシワ アラヘン。④アチ トシワ アリヤヘン。⑤ヌク トシワ アラセン。}
- * 「ありはしない」の前半部の「ありは」の部分が「アラ」「アリヤ」の二種類、後半部の「しない」の部分が「セン」「ヘン」の二種類になっている。
29. 無かった コトシミタイニ {①アチ②ヌクイ} トシワ ナカッタ。
30. ありはしなかった コトシミタイニ {①アチ トシワ アーセダッタ。②アチ トシワ アラセダッタ。
③アチ トシワ アラヘダッタ。④アチ トシワ アラヘンダッタ。⑤ヌクイ トシワ アーセダッタ。}
- * 「ありはしなかった」について、前半部「ありは」は「アラ」と「アー」、後半部の「しなかった」は「セダッタ」「ヘダッタ」「ヘンダッタ」が出てきている。
31. 無いだろう コトシミタイニ {①アチ トシワ モ ナイダラ。②アチ トシワ モ アーセンダラ。
③アチ トシワ モ ナカラ ゾ。④アチ トシワ モ ナイダラ ゾ。⑤ヌク トシワ モ ナイダラ。}
- * 「無い」の部分に「ナイ」と「アーセン」が出てきている。「だろう」の部分は「ダラ」または「ラ」が出てきており、さらに文末詞の「ゾ」が後についてくる場合もある。
32. 無ければ {①ヌク ナチナンカイ ナケナ②ヌク ナチナンカイ ナケニヤー
③ヌク ナチナンカ ナケナ④ヌク ナチナンカ ナケニヤー⑤アチ ナチナンカイ ナケナ} エネ。
- * 「無ければ」の部分には、「ナケナ」「ナケニヤー」が出てきている。
33. 暑くない キョーワ {①アンマリ ヌクコトナイ。②アンマシ ヌクコトナイ。
③アンマ ヌクコトナイ。④アンマリ ヌクコタネ。⑤アンマ アチコタナイ。}
- * 「～コトナイ」「～コタナイ」「～コタネ」という表現が出てきている。
34. 暑くはない キョーワ {①アンマリ ヌクイコトワ ナイ。②アンマ ヌクイコトワ ナイ。
③アンマシ ヌクイコトワ ナイ。④アンマリ ヌクイコトナイ。⑤アンマ ヌクイコトナイ。
⑥アンマシ ヌクイコトナイ。⑦アンマリ アチコトナイ。⑧アンマリ アチコタナイ。⑨アンマ アチコタナイ。}
- * 「暑い」の表現に「ヌクイ」と「アチ」とが出てきているが、否定表現として、「～コトワナイ」「～コタナイ」「～コトナイ」のいずれかが使われているのは共通している。

35. 暑くなかった キョーワ {①アンマリ ヌクコトナカッタ。②アンマシ ヌクコトナカッタ。③アンマ ヌクコトナカッタ。④アンマリ アチコトナカッタ。}
- * 否定表現としては、「～コトナカッタ」という表現形式が共通のものとして出てきている。
36. 暑くはなかった キョーワ {①アンマリ ヌクコトナカッタ。②アンマシ ヌクコトナカッタ。③アンマ ヌクコトナカッタ。④アンマリ アチコトナカッタ。⑤アンマリ ヌクコタナカッタ。⑥アンマリ アチコタナカッタ。}
- * 調査項目35と同様の回答をした上で出てきたのが、⑤⑥であった。文字の上では「～コトナカッタ」と「～コタナカッタ」とで違いがあるように思えるが、使用者としては、使い分けの意識はないようだ。
37. 暑くないだろう アシタモ {①ヌクコトナイダラ。②アチコトナイダラ。③ヌクンナーヘメゾナ。}
- * 「ないだろう」は、「ナイダラ」という形で出てきている。③は80歳以上の人なら言いそうなものだと、出てきたものである。
38. 涼しくない キョーワ {①アンマリ スズシコトナイ。②アンマリ スズシコタナイ。③アンマ スズシコトナイ。}
- * 否定表現の部分は、「～コトナイ」あるいは「～コタナイ」となっている。
39. にぎやかでない ①アンマリ ニギヤカダナイ。/②アンマ ニギヤカダナイ。/③アンマシ ニギヤカダナイ。/④アンマリ ニギヤカナコトナイ。
- * 「～ダナイ」と「～ナコトナイ」とがある。
40. にぎやかではない ①アンマリ ニギヤカナコトナイ。/②アンマ ニギヤカナコトナイ。/③アンマシ ニギヤカナコトナイ。/④アンマリ ニギヤカダナイ。
- * 調査項目39と共通の回答が入っている。「～でない」と「～ではない」の厳密な使い分けが使用者の意識にあるのかどうか、判断がむずかしい。
41. にぎやかでなかった ①アンマリ ニギヤカダナカッタ。/②アンマ ニギヤカダナカッタ。/③アンマリ ニギヤカナコトナカッタ。
- * 「～でなかった」については、「～ダナカッタ」と「～ナコトナカッタ」が出てきている。
42. にぎやかではなかった ①アンマリ ニギヤカナコトナカッタ。/②アンマ ニギヤカナコトナカッタ。/③アンマリ ニギヤカダナカッタ。
- * 回答の順には違いがあるが、調査項目41と同じものが、ここに出てきている。調査項目41と42とで、どこまで使い分けの意識があるのか不明である。
43. にぎやかではなからう モー {①マエミタイニ ニギヤカナコタナカラ。②ムワシミタイニ ニギヤカナコタナカラ。③マエミタイニ ニギヤカダナカラゾ。}
- * 「ニギヤカナコタナカラ」と「ニギヤカダナカラ」とが出てきている。

44. 花ではない ①アレワ ハナダナイ。／②アラ ハナダナイ。／③アリヤ ハナダナイ。／④アラ ハナダネ。

*「～ではない」の部分は、「～ダナイ」・「～ダネ」という形になっている。

45. だめだ ソゲナコトジャ ナンボ ヤッテモ {①イケン。②ダメダ。}

46. だめな アラ ツマラン。

47. つまらない {①クダランコト②ツマランコト③ヤクテモネコト} イーナ。

*「つまらない」について、「クダラン」「ツマラン」「ヤクテモネ」の三つの表現が出てきている。「ヤクテモネ」の元の形は「ヤクタイモナイ」であろう。

48. いけない ①イッタラ イケン。／②イッチャ イケン。／③イクダナイ。

49. 行カレン ソゲナ トコエ イカレン。

50. 行くな ソゲナ トコエ {①イクト イケン。②イクナ。③イクダナイ。}

51. するな ①エゲジ シーダナイ。／②ワルコト シーダナイ。／③エゲジ シーナ。／④ワルコト シーナ。

*「シーダナイ」「シーナ」の二つの表現が見られる。

52. 行くもんじゃない ソゲナ トコエ {①イクモンダナイ。②イクダナイ。}

53. たまらない ①ヌクテ タマラン。／②ヌクテ ヤレン。／③アチテ タマラン。／④アチテ ヤレン。

*「タマラン」と「ヤレン」が出てきている。

54. しかたがない アメガ ヤンノー {①マツトツテモ ショーガネ。②マツトツテモ シカタガネ。③マツトツテモ シカタガナイ。}

*「しかたがない」については、「ショーガネ」「シカタガネ」「シカタガナイ」の表現が見られる。

55. 楽ではない トーイ トコマデ {①アルクナー ラクダネ。②アルクナー セツイ。③アルクコトワ エライ ワ。}

56. 歩きたくない トーイ トコマデ {①アルキテコトナイ。②アルキテコトネ。③アルキタイコトネ。④アルキタイコトナイ。}

*「歩きたくない」については、「アルキタイコトナイ」系の表現として出てきている。「タイ」「ナイ」の連母音の部分が単母音化して「テ」「ネ」となっているものもあるが、すべて「アルキタイコトナイ」系のものでまとめられるものである。

57. 大丈夫だ シンバイ センデモ セワナイ。

58. いや ①インヤ。／②イヤ。／③エンヤ。

59. いや (強い否定) ①インヤ インヤ。／②イーヤ。／③エーンヤ。

*調査項目58の回答に比べ、繰り返し(「インヤ」に対する「インヤ インヤ」)や、長音化(「イヤ」に対する「イーヤ」、「エンヤ」に対する「エーンヤ」)

により、強い否定を表している。

60. いいえ ①イヤ、フーシマセダッタ。／②イーエ、フーシマセダッタ。／③エンヤ、フーシマセダッタ。／④エンヤ、フーマセンデシタ。

61. いや（否定問いかけに対する応答）

①ウン フッタ ヨ。

②インヤ {①フラダッタ ヨ。②フランダッタ。}

62. どういたしまして ①イヤイヤ、ベツニ ナンダイ。／②イーヤ、ベツニ ナンノ オカマイモ シマセンデ。／③イーエ、ナンノ オカマイモ デキマセンデ。

63. できない ①ワタシワ デキン。〈女〉／②ワタシワ ヨー セン。〈女〉／③オラワ デキン。〈男〉／④オラワ ヨー セン。〈男〉

*「できない」について、「デキン」と「ヨー セン」の二つの表現が出てきている。

64. 読むことができない（状況） ①ヨメン。／②ヨマレン。

65. 読むことができない（能力） ①ヨー ヨマン。／②ヨメン。

*「ヨメン」は調査項目64でも出てきた。「読めない」状況を言うこともあるし、能力的に「読めない」場合にも使うということになる。「ヨー ヨマン」については、「ヨー」をつけることによって、能力的に無理だということを示す形になっている。

66. 出られない（心理的状況） コゲナ ハデナ フク キテ マチエ {①デラレン。②ヨー デン。}

67. 食べられない コノ キノコワ {①クエン。②クワレン。③タバラレン。}

68. 食べることができない イソガシテ チーハンモ {①クエン。②タバラレン。③クワレン。}

69. 知るものか ソゲナ コト {①オラガ シルモンカ。②オラ シラン。③オラガ シーカ。④オラガ シルワケナイ。}

70. 誰が行くものか ソゲナ トコエ ダーガ {①イクモンカ。②イクカ。③イクモンデ。}

71. なんて行くのか（行くものか） ソゲナ トコエ ナンデ {①イカンチランカ。②イクカイ。}

72. なんて恥ずかしいものか（なんて恥ずかしがるか） {①ナンデ②ナンガ} ハズカシカイ。

*「なんで」の部分に、「ナンデ（なぜ）」と「ナンガ（何が）」とが出てきている。

73. 行かないでおるものか（行くとも！） ①イカデ オラエカ。／②イクダン ナンテテ。

*①は「行かないでおられようか」、②は「行くのだなどと（当り前のことだ）」
 といった意味合いの言葉で表現されている。

74. やれるか ソーガ オマエニ {①ヤレーモンカ。②ヤレー カヤ。}

75. シテイラン ソゲニ ヤナラ {①シテ モラワン。②センデ イー。}

76. 少しもはかどらない (少しも～ない) ①ヌグテ シゴトガ チートダエ {①ハ
 カドラン。②ラチガ アカン。} / ②アチテ シゴトガ チートダエ ハカドラ
 ン。

*「少しも」の部分としては「チートダエ」が、「はかどらない」の方は「ハカド
 ラン」「ラチガ アカン」が出てきている。

77. ぜんぜんできていない (ぜんぜん～ない) ①シゴトガ {①チットダエ②ボデー
 ネ③ボデン} デキトラン。 / ②シゴトガ ボデー デキチョラン。

*「ぜんぜん」の部分は、「チットダエ」「ボデーネ」「ボデー」「ボデン」とな
 っている。「～ていない」の部分は、「～トラン」「～チョラン」となっており、
 「トル」「チョル」+否定の「ン」の形をとっている。

78. いっこうに降らない (いっこうに～ない) アメガ {①イッコーニ フラン。②
 ボデー フラン。}

79. あまり降らない (あまり～ない) コトシモ アメガ {①アンマシ②アンマ③ア
 ンマリ④アンマー} フラン。

*「あまり」の部分が、少しずつ音変化を起こし、「アンマシ」「アンマリ」「ア
 ンマー」「アンマ」となっている。否定の部分は「フラン」となり、否定の「ン」
 によって表現されている。

80. (予想外に) たくさん

①イモガ {①ギョーサンナホド②ヨーケ ヨーケ} トレタ。

②イモガ アバカンホド トレタ。

81. いいではないか ①ワザニ イカндеモ {①エーダナイカ。②エダナイカ。} /
 ②ワザニ イカデモ エダネカ。

*「エーダナイカ」「エダナイカ」「エダネカ」が出てきている。

82. いいのではないか 「エーノントチャウカ」とは言わない。

83. いいかもしれない ①ワザニ イカндеモ {①エカモシレン。②エーダナイ。}
 / ②ワザニ イカデモ エカモシレン。

*「いいかもしれない」系と「いいじゃない」系のものが出てきている。

84. 行かないか イッシュヨニ {①イカンネ。②イカンガ。<男>③イカヤ。④イカコ
 イ。<男>⑤イカン。}

*「行かないか」系のもの「行こうや」系のものが出てきている。

85. くれなやか コレ モッテ {①モラエン。②ゴサンガ。<下品>③ゴサン。④ク

レンカ。}

86. くれませんか コレ モッテ {①モラエマセンカ。②ゴシナハランカ。③ゴハッ
シャランカ。}

*③は、どちらかと言えば男性的な表現であるが、使用層の高齢化とともに、使わ
れることが少なくなっているようである。

87. 下さいませんか コレ モッテ {①モラエマセンカ。②ゴシナハーマスカ。}

*②は「ゴシナハーマスカ(くださいますか)」の形であるが、尊敬の助動詞「ナ
ハル」に丁寧の助動詞「マス」を付け加えることによって、より一層、丁寧さが
増している。

88. 行かないと(～行けば) ハヤコト {①イカント。②イカナ。③イッタラ。}

Ⅲ. 総括(まとめ)

1. 否定の助動詞として「ン」が使われる。
2. 調査項目4「行きはしない」では、「イカヘン」「イカセン」「イキヤーセン」が
出てきている。「～ヘン」「～セン」の両方が存在している。そして、「しない」
の部分が「しなかった」となる場合は、調査項目30「ありはしなかった」の所に出
てくるように、「～セダッタ」「～ヘダッタ」「ヘンダッタ」となる。
3. 調査項目16「見ない」では「ミン」と「ミーセン」、17「居ない」では「オラン」
と「オラセン」が出てきている。「～ン」と「～セン」が共存していることになる。
4. 形容詞の否定については、調査項目33～38のように「～コトナイ」「～コタナイ」
といった形になりやすい。
5. 形容動詞では、「～でない」は調査項目39のように「～ナコトナイ」、「～でなか
った」は調査項目41のように「～ダナカッタ」「～ナコトナカッタ」となる。
6. 推量の「～なかるう」は、調査項目43に出てくるように「～ナカラ」となる。
7. 禁止の表現では、調査項目50・51のように「イクナ」「シーナ」とともに、「イク
ダナイ」「シーダナイ」といった「～するのではない」系のものが出てきている。
8. 調査項目58と59の「いや」の比較では、繰り返し(「インヤ」に対する「インヤ
インヤ」)や、長音化(「イヤ」に対する「イーヤ」、「エンヤ」に対する「エー
ンヤ」)が、強い否定を表現するようになることを示している。
9. 調査項目77のように「～ていない」の場合は、「～トラン」「～チョラン」となり、
「トル」「チョル」+否定の「ン」の形をとっている。
10. 調査項目85・86のように、「くれる」が「クレル」「ゴス」であるのに対応し、そ
の否定の「くれない」は「クレン」「ゴサン」となる。そして、「くれませんか」や
「下さいません」のように、丁寧の度合いが強まると「ナハル」「シャル」を作っ
て、「ゴシナハラン」「ゴハッシャラン」といった形になる。

(みずたにのぶあき 島根県立吉賀高等学校)